

# 関東ブロックポリテックビジョン訪問記 地域に開かれた技術・技能の祭典



ポリテクセンター中部  
(中部職業能力開発促進センター)

丸山 正実

さに感銘しました。

なかでも、事業主団体と能力開発施設との連携による研究開発事業については、実用化に向け、さまざまな問題を的確に解決し、さらに高性能な製作物としてまとめられ、多くの参加者に注目されていました。

次に、ものづくり体験コーナーでは、地元の伝統工芸家による実演も行われ、小中学生を含む多くの方が参加し、ものづくりを体験していました。

また、施設見学については、一般の方々にとって、日頃見ることのできない実習場内の様子に、皆興味津々といった雰囲気でした。

全体を通して、今回のポリテックビジョンは、まさに地域の事業主団体をはじめ多くの方々とともに築き上げ、参加者にとって実り多く、地域に開かれた技術・技能の祭典であったことを実感しました。

最後にこの場をお借りして、ポリテックビジョンの事業運営に当たった職業能力開発施設の職員ならびに関係各位に厚くお礼申し上げます。

平成15年2月28日(金)・3月1日(土)の2日間、職業能力開発総合大学校 東京校において関東ブロックポリテックビジョンが、科学・技術・技能を融合させた「ものづくり」の実践と題して、開催されました。

内容は、総合制作・研究発表、職業能力開発事業研究発表会、研究開発作品展示、ものづくり体験コーナーに加え、施設見学およびオープンスクールも行われました。

初日に訪れた際、まず目に止まったのは、会場入口付近に展示されたPC階段とアルミサッシュ打込みコンクリート壁といったもので、これは一般に技術的に非常に難しいもので、こうした高い技術・性能をもった総合制作が多く展示されていました。また、会場内に入り、改めてその展示の多さと1つひとつの質の高



ものづくり  
体験コーナー



会場様子



研究発表



総合制作



施設見学〈実習棟〉

技能と技術